日本国内専用

テレビキット 取付/取扱説明書

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご注意

本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用に設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご了解ください。

内容物一覧

■テレビキット本体 ×1
■切替スイッチ ×1

■接続ハーネス ×1
■点検コネクター ×1
■両面テープ(大/小) ×各1
■取付/取扱説明書(本書) ×1
■保証書&ユーザー保証登録カード ×1

保証について

●付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
※保証期間はご購入日を含めて「3年間」となります。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書をご参照ください。
※保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。
※本製品に貼付している封印シールは剥がさないでください。剥がした場合、保証期間に関わらず保証対象外となります。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から、修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、8年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

ご相談窓口

お電話 086-445-1617
#+2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)
※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

メールでのお問い合わせ(PC)

http://www.datasystem.co.jp/support/mail/

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

http://www.datasystem.co.jp/sp/support/

株式会社 データシステム

■[本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2　■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

注意事項の定義について

注意事項は「危険」、「注意」、「警告」、「重要」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

区分	意味
危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

使用上の注意

危険

●本製品は、運転者以外の同乗者が、走行中にテレビを視聴したりナビを操作したりするための製品です。運転中、運転者は絶対にテレビ視聴したり、ナビの操作をしないでください。運転者が走行中に画像表示装置(ナビゲーション・テレビ画面など)を注視することは道路交通法で禁じられています(道交法第71条)。
●走行テストをおこなうときは、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方が走行テストをおこなってください。

警告

●安全上、運転者は走行中絶対にテレビを視聴したり、ナビの操作をしたりしないでください。道路交通法の安全運転義務違反となり、処罰の対象となります。罰金・減点などの責務に関して、弊社では一切責任を負いません。
●運転者以外に同乗者がいない状態で走行する場合、絶対にテレビを映さないでください。道路交通法の安全運転義務違反となり、処罰の対象となります。

重要

●本製品動作中は、ナビゲーション(ナビ)上の自車位置が不正確になる場合があります。
●ナビ上の自車位置が不正確になった場合は、本製品をOFFにするとナビのGPS機能で補正されます。正確な位置に戻るまでの時間は、車両や周囲の状況、ナビの性能に依存します。
●本製品を動作させると、距離に関する情報(平均車速や燃費など)が不正確になる場合があります。
●ナビを点検・修理に出す際は、付属の点検コネクターを必ず取り付けてください。アフターパーツ類(本製品を含む)を取り付けている場合、メーカー保証が受けられないことがあります。
●本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

つかいかた

●走行中にテレビを映す（本製品をONにする）

1. 本製品の【切替スイッチ】を押して、スイッチのランプを**点灯**させます。

●モード設定で【ONスタートモード】にしている場合は、エンジンを始動させると自動的にランプが点灯します。

2. ナビ側で【TV】を選択します。

●走行中にテレビを映さない（本製品をOFFにする）

1. 本製品の【切替スイッチ】を押して、スイッチのランプを**うすく点灯**させます。

●本製品をOFFにすると、本製品を取り付けていない時と同じ状態となります。

●ドアロックの操作、ドアの開閉、イグニッションスイッチのONなどで車両の通信が始まると、【切替スイッチ】のランプがうすく点灯します。
●エンジンを停止してキーを抜いた後も、車両の通信がおこなわれています。ドアをロックしたあと数分経つと通信が終わり、本製品の電源が切れ【切替スイッチ】のランプが消えます。

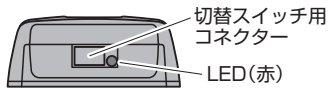
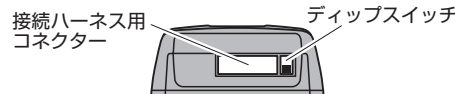
重要
切替スイッチをONにすると、車速に連動して動作する機能（車速感応ボリューム、車速感応シート調整、カメラ切り替えなど）が使用できない場合があります。これは本製品がナビゲーション（オーディオ）システムへ車両停止信号を送信しているためですので、故障ではありません。
なお、車速感応式パワーステアリングなどのパワートレイン系は問題なく動作します。

機能設定

本製品は次のモード設定ができます。お好みで選択、設定してください。

OFFスタートモード（工場出荷時）・・・・**エンジン始動時、ノーマル状態（走行中にテレビ/DVDが視聴できない状態）となります。**
走行中にテレビを視聴するときは【切替スイッチ】の操作が必要です。

ONスタートモード・・・・**エンジン始動直後から、走行中にテレビ/DVDが視聴できる状態となります。**
【切替スイッチ】を操作せず、走行中にテレビを視聴できます。

1. イグニッションスイッチをOFFにして、本製品の「切替スイッチ用コネクター」横にあるLEDが消灯していることを確認します。

2. 本体から接続ハーネスを外して、本体のディップスイッチを操作します。

重要
ディップスイッチの印字と動作が異なります。スイッチの印字は無視してください。

Q&A

Q. エンジンを始動させても【切替スイッチ】のランプが点灯しません。故障ですか？
A. 配線の接続を確認してから、再度エンジンを始動させてください。

Q. 【切替スイッチ】を接続しなくても使用できますか？
A. 使用できません。【切替スイッチ】は必ず接続してください。

Q. この製品を取り付けた状態で車検は通りますか？
A. 車検の点検項目にはありませんので、問題なく車検に通ります（運転や視界の妨げとなる位置に【切替スイッチ】を設置した場合を除く）。正規ディーラーで自己診断テスターを使った点検・サービスを受ける際は、付属の点検コネクターを必ず取り付けてください。

Q. 画面に何も表示されなかったり、警告が出てテレビなどが観られなくなってしまいました。
A. 本製品取り付け店や販売店にご相談ください。コネクターや配線などの確認が必要です。

Q. ナビを点検・修理に出す場合の注意点は？
A. ナビを点検・修理に出す際は、付属の点検コネクターを必ず取り付けてください。アフターパーツ類（本製品を含む）を取り付けしている場合、メーカー保証が受けられないことがあります。

Q. 製品を取り付けた後、パワーウィンドウなどの動きがおかしくなりました。故障ですか？
A. 車両の装備によっては、バッテリーのマイナス端子を外すと、設定が消去されて動作しなくなるものがあります。「接続のあとに」をご参照の上、再度設定をおこなってください。

Q. 走行中にDVDを観ることはできますか?
A. ナビにDVDビデオの再生機能がある場合は、走行中にDVDを観ることができます。
※再生機能のないナビでは観ることができません。
※DVDの再生機能がある車種でも、走行中にDVDを観ることができない場合があります。詳しくは最新適合表をご覧ください。

Q. ユーザー登録はしなければいけませんか?
A. ユーザー登録をおこなわない場合は保証は無効となります。必ずユーザー登録をおこなってください。

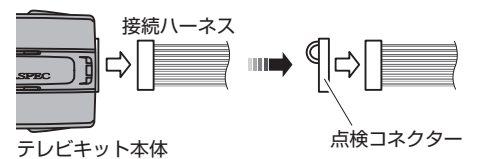
Q. 保証書に販売店の記入がありません。
A. 保証書に販売店の記入がない場合は、購入時の納品書を保証書と一緒に保管してください。販売店の記入がない場合で点検・修理をする際は、保証書とあわせて納品書の提示が必要になります。保証書に販売店の記入がなく、納品書のご提示もない場合は、保証が無効になります。

点検コネクターについて

本製品を取り付けている場合、ディーラーによってはメーカー保証あるいは点検そのものが受けられない場合があります。
点検に出す際は点検コネクターを接続してください。点検コネクターを接続すると、ノーマル配線と同じ状態に戻ります。
※再度本製品を使用するときは、下記と同じ手順で本体を取り付けてください。
※点検コネクターを使用しないときは、取扱説明書と一緒に保管してください。

●点検コネクターの接続方法

1. イグニッションスイッチをOFFにして、キーを抜いてオーディオ、モニターを停止させます。
ドアの開閉もおこなわない状態で、切替スイッチのランプが消灯するまで（約5分間）待機します。

2. 接続ハーネスを本体から外して、接続ハーネス側に点検コネクターを取り付けます。

取り付け上の注意

⚠危険

●取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。なお、バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。
●シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。

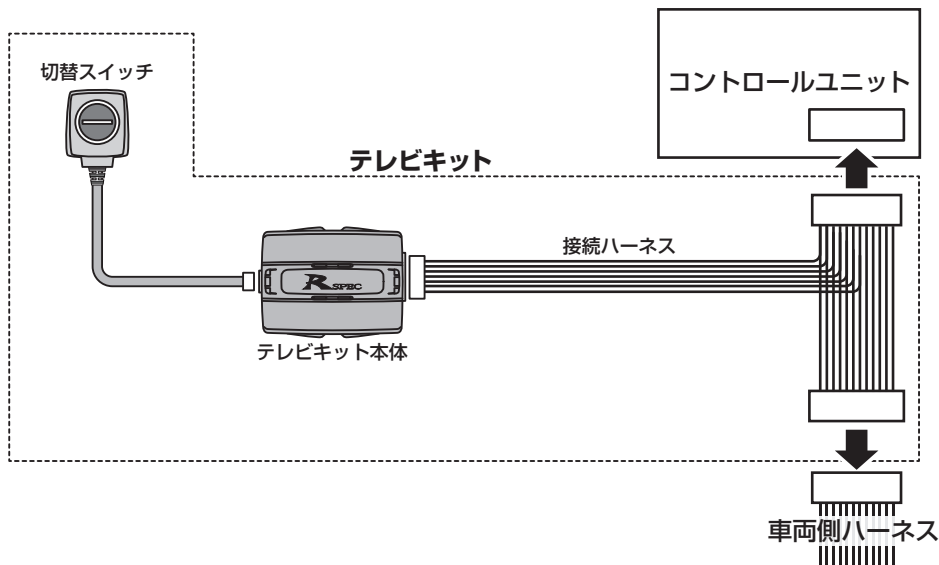
⚠注意

●本製品の取り付けには、専門知識が必要です。製品の取り付けは販売店または整備工場などにご依頼ください。
●本製品は、車種またはナビの機種により適合する品番が異なります。適合する品番がない場合は取り付けできません。
●本製品の取り付け前に、カセット・音楽ディスク・地図ディスクなどは、すべてユニットから取り出してください。
●本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障する恐れがあります。
●コネクターを外す際は、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張ると、コネクターやユニットが破損する恐れがあります。
●コネクターを接続するときは、奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込んでください。
●車両側および本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。
●配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
●本製品は、必ず車両側に両面テープなどで固定してください。固定しないと接触不良の原因となったり、配線が断線したりする恐れがあります。

(!)重要

●【切替スイッチ】は必ず接続してください。【切替スイッチ】を接続しないと本製品は動作しません。
●ナビを点検・修理に出す際は、必ず本製品を取り外してください。アフターパーツ類(本製品を含む)を取り付けている場合、メーカー保証が受けられないことがあります。

接続イメージ

車両のユニットと車両側のハーネスとの間に接続します。
※接続位置やコネクター数、配線などは、車種や品番によって異なります。

取り付け方法

1. ユニットから音楽や地図などのディスク、カセット類を取り出します。

2. バッテリーのマイナス端子を外します。

⚠ **注意**
取り付けを始めるまえに
イグニッションスイッチをOFFにした後、**5分以上経過してから**バッテリーのマイナス端子を外してください。

バッテリーのマイナス端子は必ず外してください。
外さずに作業すると、本製品が故障するおそれがあります。

3. 車種別の分解手順※を参照して、内装やパネルなどを取り外し、指定されたコネクターや配線に本製品を取り付けます。
※ディーラーオプションナビの場合は取り付けるコネクターの位置のみ

4. 接続ハーネスを本製品本体に接続します。

5. 【切替スイッチ】を本製品本体に接続して、操作しやすい場所へ設置します。

6. ナビを動作可能な状態にして、バッテリーのマイナス端子を接続し、動作テストをします。

7. 動作に問題がなければ、本体を両面テープで他の部分と干渉しないところに固定し、内装やパネル類、取り出したディスク類を完全に元に戻して作業完了です。

接続のあとに

車両の装備によって、バッテリーのマイナス端子を外すと、設定が消去されて動作しなくなるものがあります。
その場合は次の方法で初期設定をおこなってください。

パワーウインドウ	各ドアのドアガラスをドアスイッチで全開状態から全閉状態にし、さらに5秒以上ドアスイッチを閉方向に操作し続ける
電動スライドドア	スライドドアを手動で全開、全閉する
サンルーフ	ルーフ動作が一巡するまで、チルトアップボタンを押し続ける
バックガイドモニター	平坦な場所に停車し、バックモニターを表示させた状態で左右両側にステアリングを一杯に切る
パワートランクリッド	トランクを手動で全開、全閉する